

# 「2017 年度 関西新人大会優勝」

2017 年 11 月 30 日

執筆者：2 回生 石本 昌也

(岡山県 県立西大寺高校出身)

この度、第 30 回関西学生剣道新人大会におきまして、男子団体優勝をすることができました。これも OB・OG の諸先輩方を始め、指導陣、家族、全ての関係者の方々のお陰だと思っております。本当にありがとうございました。

ここ最近の関西レベルの大会において、「優勝」や「入賞」することができておらず、いつも後一步のところで悔しい思いをしてきました。「タイトルが欲しい」というのが、私自身、部全体としての本音であり、「想い」でした。そんな中、本大会は過去 3 大会連続で決勝戦まで進出している相性の良い大会であり、幹部が代わり新体制となった「新鮮さ」を武器に「部全体の雰囲気をよくすること」を課題とし、大会 2 週間前から徹底して稽古してきました。そのためには、「優勝」が必要でした。昨年の優勝メンバーの 7 人中、4 人が今大会もメンバーに入っており、二連覇というとても大きなプレッシャーが少なからず我々選手にはありました。1 回戦から順調に勝ちあがることができましたが、試合も中盤になり、集中力が切れ始めている際に、大石主将、深見主務がその都度的確なアドバイスをくださり、気持ちを引き締め直すことができました。また、準決勝からは「完全に立命館ムードだな」と試合をしながら感じていました。それは選手だけでなく、観客席から一体感のある応援をしてくださっていた部員・OB・OG の先輩方のお陰であると思っております。決勝戦は、本大会の 1 週間前に行われた京滋新人大会の決勝戦で対戦した同志社大学でした。決勝戦の前に田中監督から、「先週と同じ気持ちで戦ったら負けるぞ」と檄が飛び、もう一度、選手全員「気持ち」を高め合い試合に臨むことができました。

毎年スタートは良いものの、夏の関西・全日本ではなかなか結果が残すことができていません。現状に満足することなく部員全体がレベルアップを目標に精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

